

2014年3月期 第1四半期 決算説明資料

ブラザー工業株式会社

2013年8月6日

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

連結決算の概要 <2014年3月期 第1四半期実績>



単位:億円

	2014/3 1Q実績	2013/3 1Q実績	増減額	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,393	1,207	186	15.5% (0.5%)
営業利益	94	115	△21	△18.6%
営業利益率	6.7%	9.6%	△2.8%	
営業外損益	△35	7	△42	
経常利益	59	122	△64	△52.0%
特別損益	0	△4	4	
法人税他	46	16	30	
四半期純利益	13	103	△90	△87.0%

単位:円

換算レート	USD	80.40	17.54
	EUR	103.35	24.00

- 売上高は、為替のプラス影響や、通信プリンティング機器が堅調に推移したことにより、増収となる。
- 営業利益は、為替のプラス影響はあるものの、M&S事業の減収や、販管費の増加などにより、減益となる。
- 経常利益は、為替デリバティブの時価評価損や、為替差損を計上した影響により、減益となる。
- 四半期純利益は、経常減益及び税効果会計の影響による税負担増の影響により、大幅な減益となる。

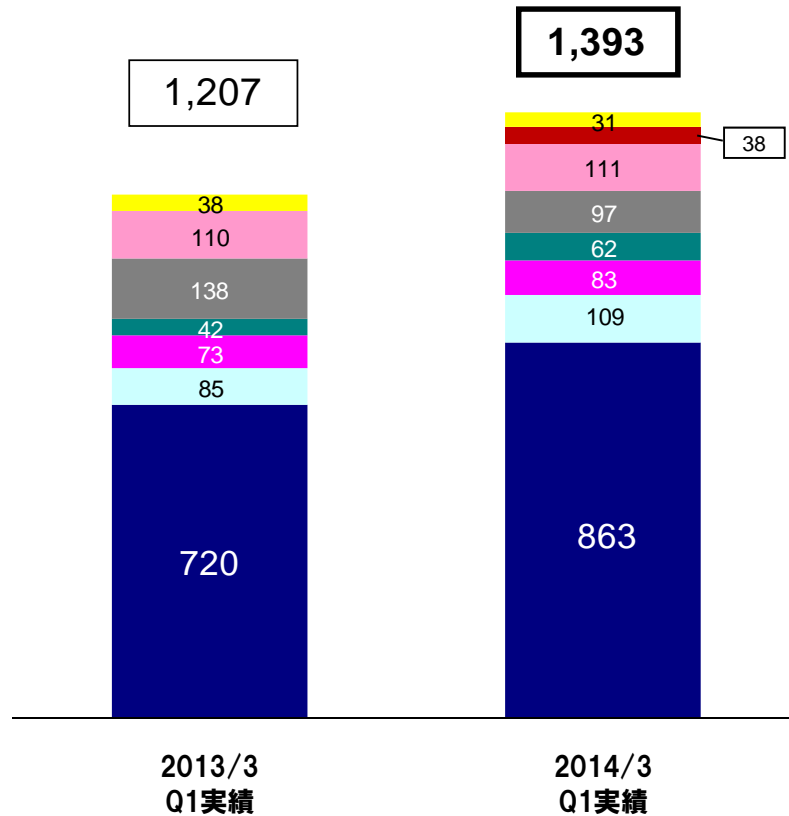
連結業績実績 セグメント別

<2014年3月期 第1四半期実績>



売上高

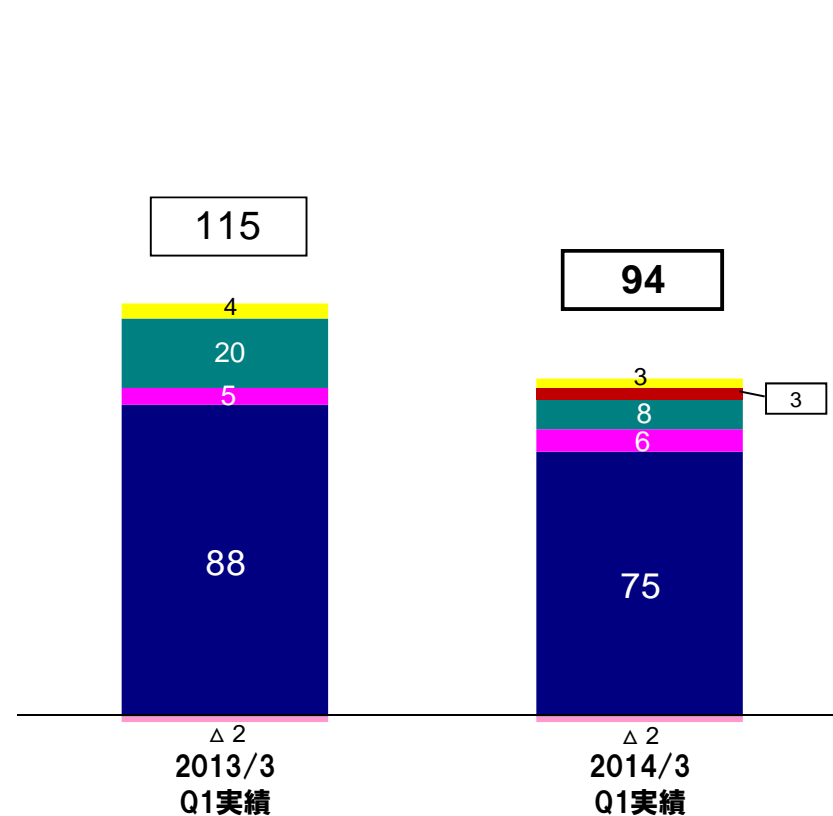
(億円)



- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- 工業用部品
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信カラオケ・コンテンツサービス
- その他

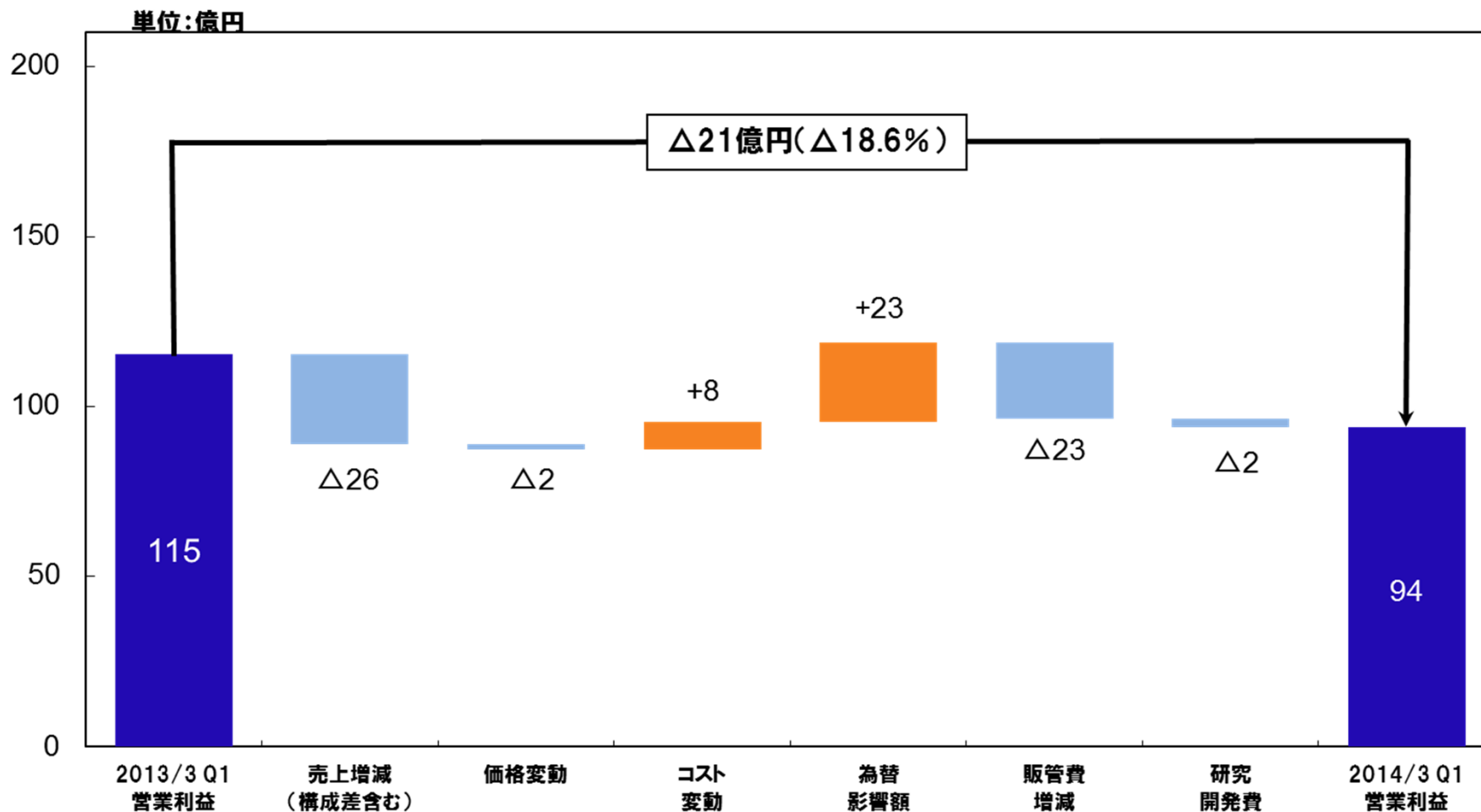
営業利益

(億円)



- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- 工業用部品
- その他

営業利益増減要因 <2014年3月期 第1四半期実績>

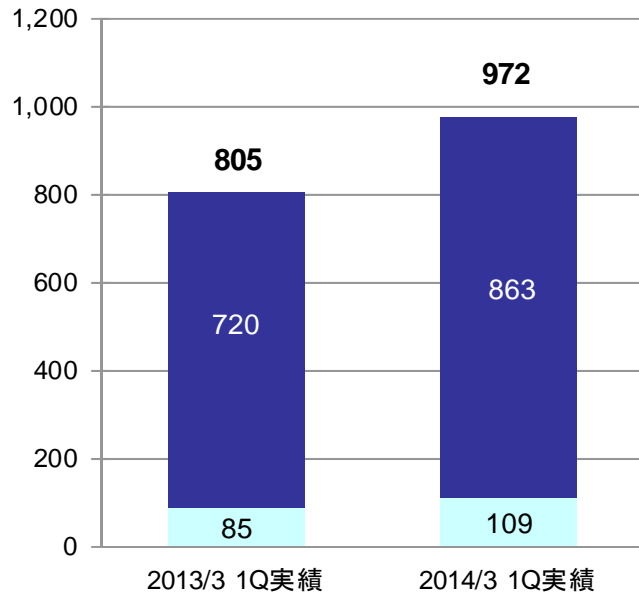


プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 第1四半期実績>



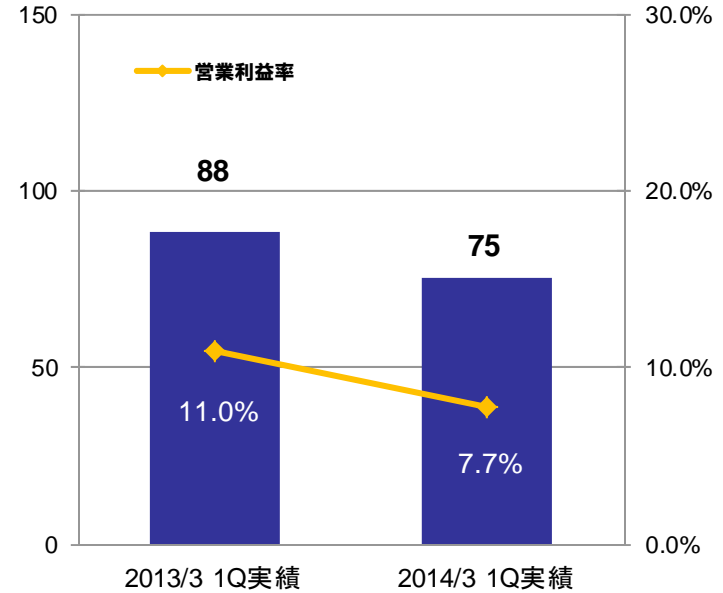
売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

通信・プリンティング機器	+19.9% (+1.5%)
電子文具	+28.3% (+8.1%)
合計	+20.8% (+2.2%)

営業利益 (億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2013/3 1Q 実績	2014/3 1Q 実績	増減率(為替影響除く)
米州	269	355	+31.8% (+9.2%)
欧州	243	275	+12.9% (Δ7.5%)
アジア他	102	124	+21.4% (Δ0.3%)
日本	106	110	+4.1% (+4.1%)

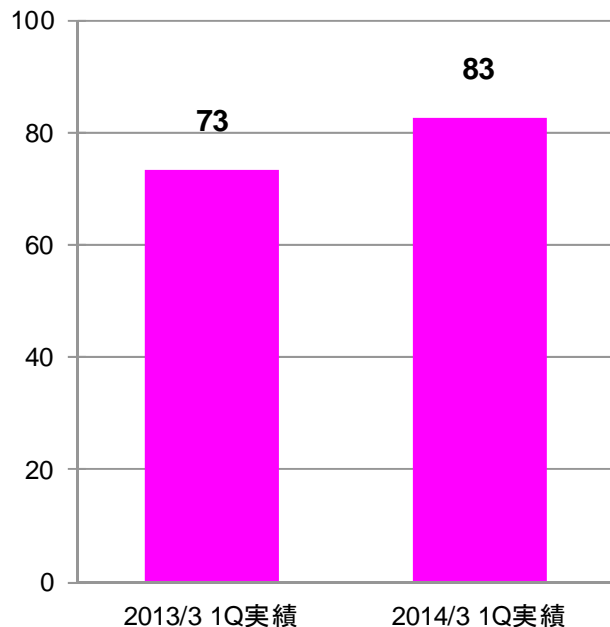
電子文具 地域別売上高内訳(億円)

	2013/3 1Q 実績	2014/3 1Q 実績	増減率(為替影響除く)
米州	41	52	+26.1% (+4.1%)
欧州	25	31	+20.3% (Δ1.5%)
アジア他	11	15	+37.9% (+13.7%)
日本	8	12	+52.4% (+52.4%)

- 売上高は、為替のプラス効果により各地域で増収となるが、厳しい市況環境が続く欧州は、現地通貨ベースでは前年割れが続く
- 営業利益は、為替のプラス効果はあるものの、販管費の増加や、製品構成の変化の影響などにより、減益となる

売上高

(億円)



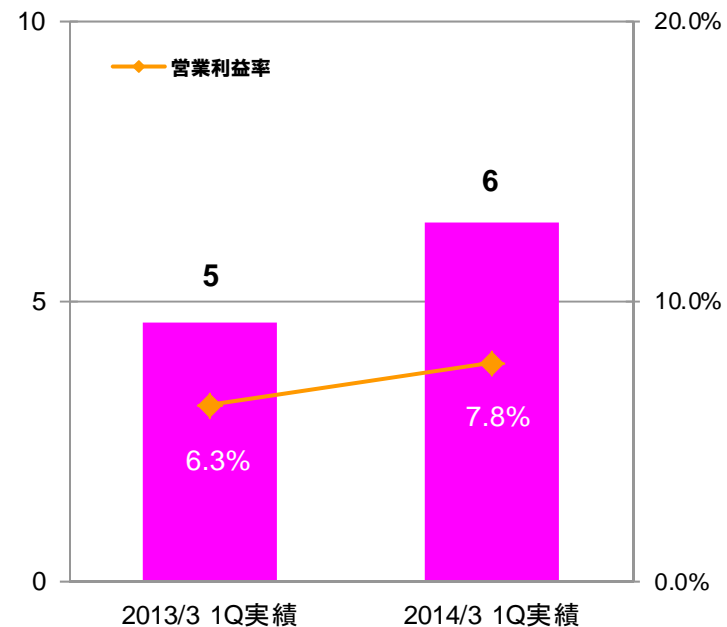
増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン

+12.4% (Δ4.3%)

営業利益

(億円)



家庭用ミシン

地域別売上高内訳(億円)

	2013/3 1Q 実績	2014/3 1Q 実績	増減率(為替影響除く)
米州	34	40	+15.6% (Δ4.0%)
欧州	19	22	+16.0% (Δ5.8%)
アジア他	7	8	+22.3% (+0.2%)
日本	14	13	Δ5.1% (Δ5.1%)

- 売上高は、現地通貨ベースでは前年割れとなるものの、為替のプラス効果により増収となる
- 営業利益は、為替のプラス効果もあり、増益となる

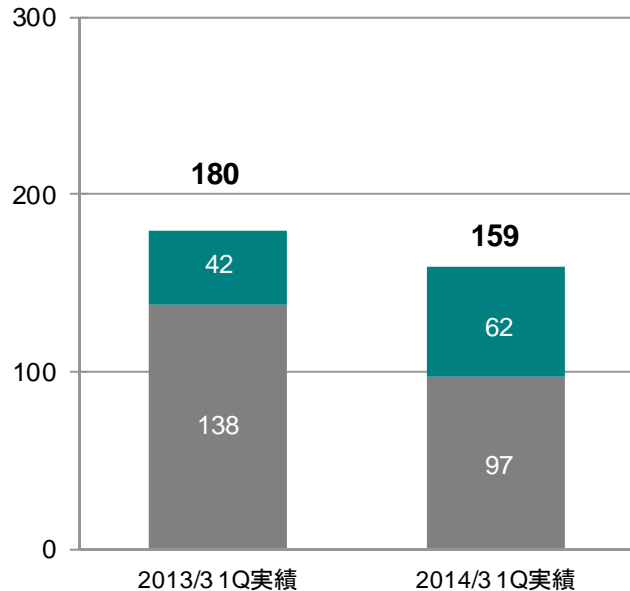
マシナリー&ソリューション事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 第1四半期実績>



売上高

(億円)

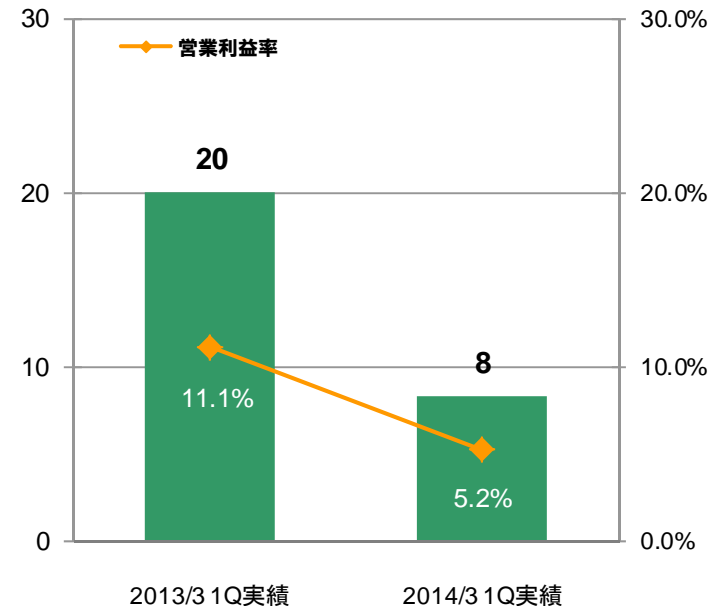


増減率(為替影響除く)

工業用マシン	+48.0% (+21.1%)
産業機器	Δ29.5% (Δ33.8%)
合計	Δ11.5% (Δ21.0%)

営業利益

(億円)



工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2013/3 1Q実績	2014/3 1Q実績	増減率(為替影響除く)
米州	9	11	+29.7% (+6.5%)
欧州	7	9	+25.8% (+2.1%)
アジア他	25	41	+61.6% (+31.3%)
日本	1	1	+20.9% (+20.9%)

産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2013/3 1Q実績	2014/3 1Q実績	増減率
米州	5	5	Δ0.9%
欧州	4	3	Δ30.9%
アジア他	115	82	Δ28.6%
日本	14	7	Δ47.4%

- 工業用マシンは、アジア地域での需要回復により、増収となる
- 産業機器は、IT関連の需要縮小の影響により、減収となる
- 減収に伴い、減益となる

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

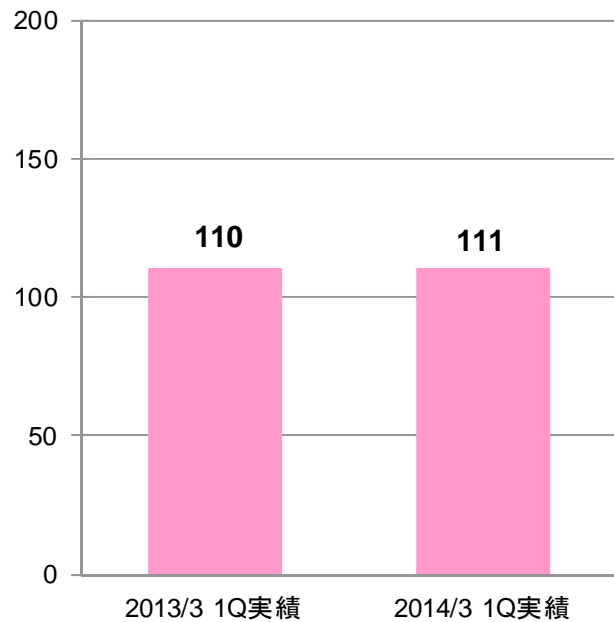
ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 第1四半期実績>



売上高

(億円)

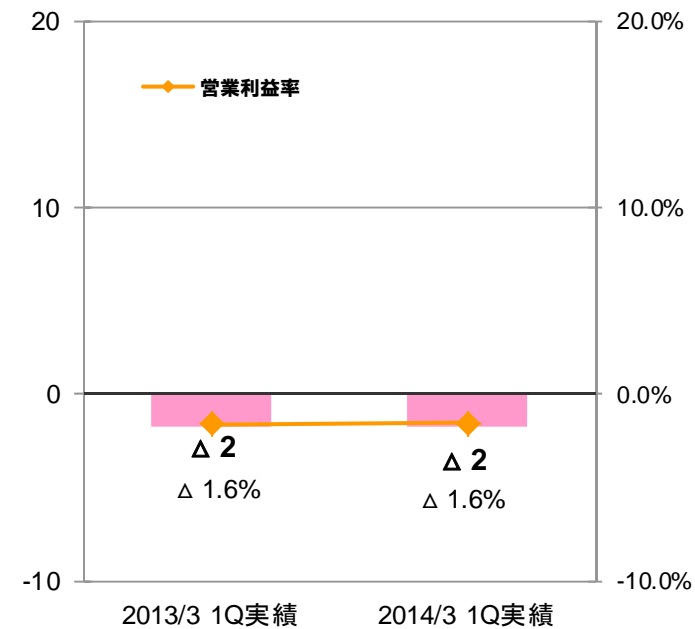


増減率

N&C事業
+0.2%

営業利益

(億円)



➤ 売上高、営業利益とも堅調に推移し、前年並みの水準となる

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

連結業績予想<2014年3月期 通期予想>



単位:億円

	2014/3 予想 (A)	2013/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ()は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2014/3 前回予想 (5/9発表) (C)	増減額 (A - C)
売上高	5,850	5,161	689	13.4% (4.6%)	5,700	150
営業利益	350	298	52	17.5%	320	30
営業利益率	6.0%	5.8%	0.2%		5.6%	0.4%
営業外損益	△ 30	△ 66	36		0	△ 30
経常利益	320	231	89	38.3%	320	-
特別損益	△ 15	48	△ 63		△ 15	-
法人税他	120	101	19		120	-
当期純利益	185	178	7	3.8%	185	-

単位:円

換算レート	USD	92.84	83.23
	EUR	122.78	107.57

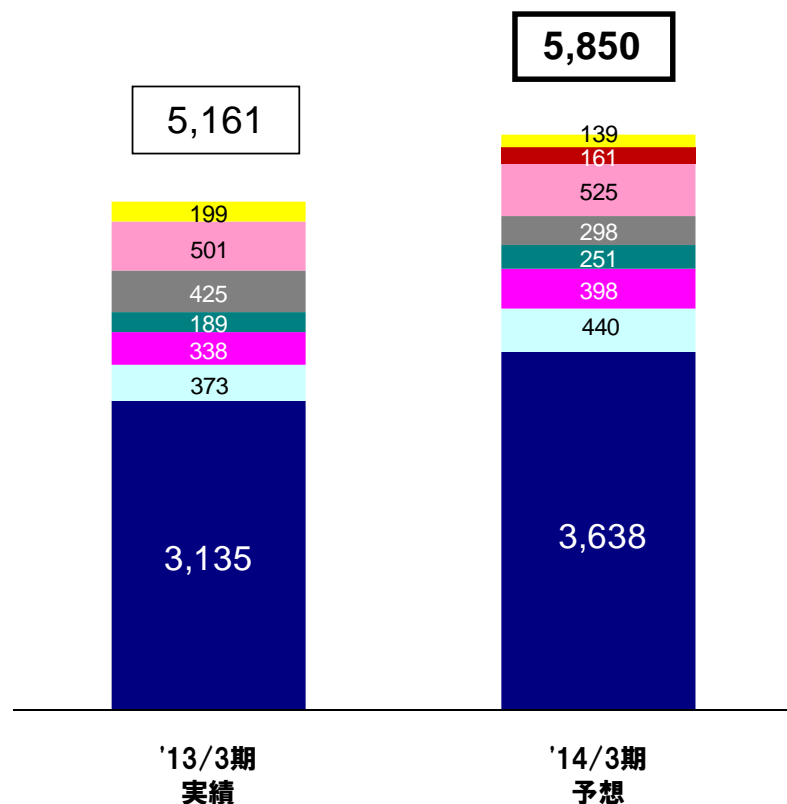
90.00
115.00

前回予想からの変更点

- 売上高は、ユーロの想定レート変更による影響と、通信・プリンティング機器の米州の見通し引き上げを織り込む
- 営業利益は、主にユーロの想定レート変更による影響を織り込む
- 経常利益、当期純利益は、為替予約による為替差損の発生を織り込み、前回予想を据え置く

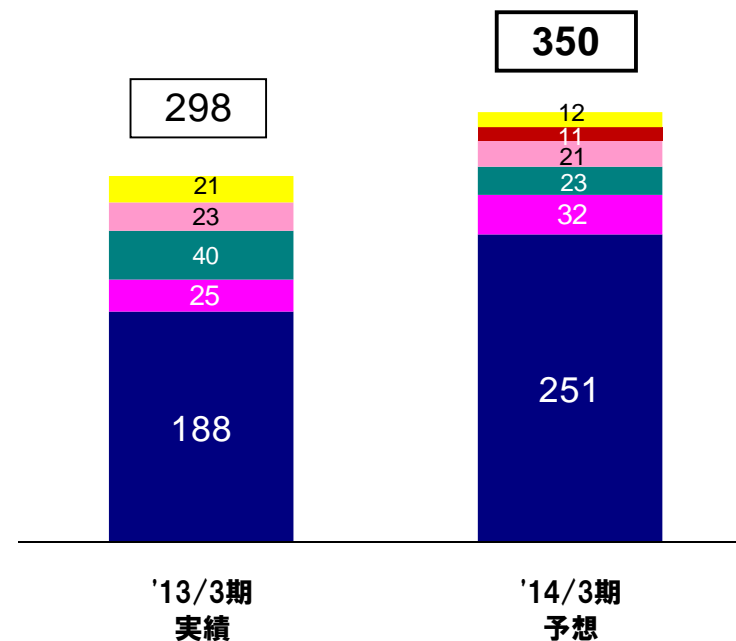
連結業績予想 セグメント別

売上高 (億円)



- 通信・プリンティング機器
- 家庭用マシン
- 産業機器
- 工業用部品
- 電子文具
- 工業用マシン
- 通信カラオケ・コンテンツサービス
- その他

営業利益 (億円)



- プリンティング&ソリューションズ
- パーソナル&ホーム
- マシナリー&ソリューション
- ネットワーク&コンテンツ
- 工業用部品
- その他

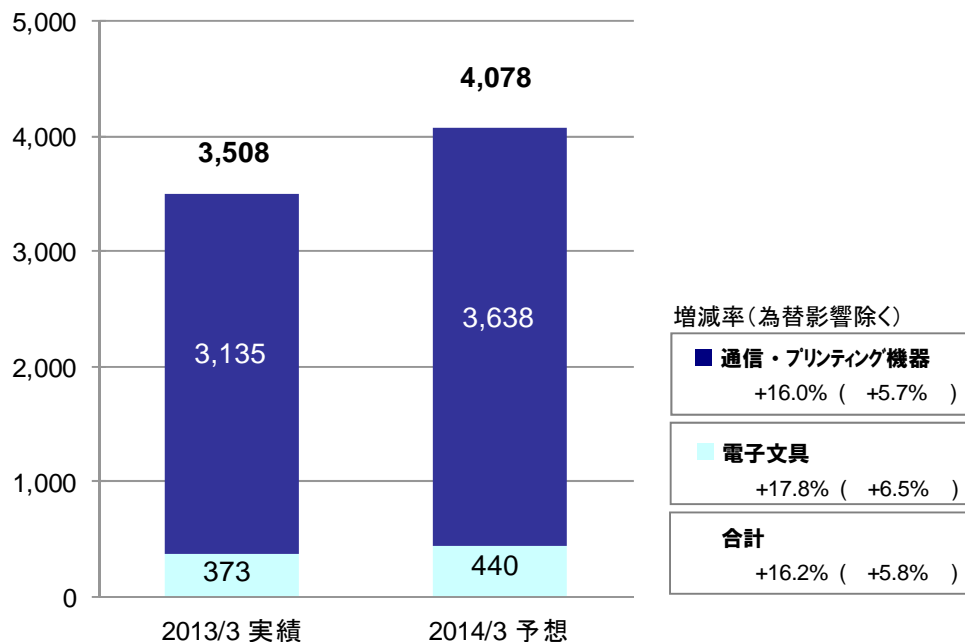
プリンティング&ソリューションズ事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



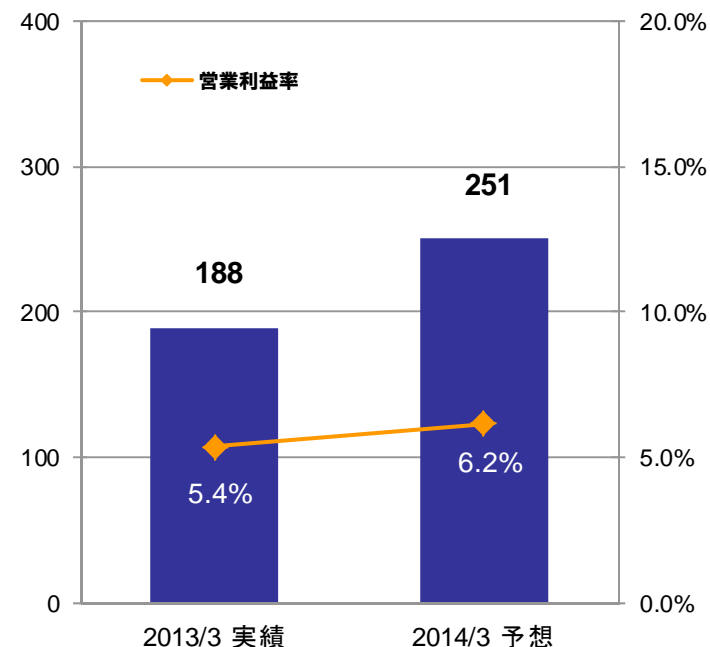
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	12年度	13年度	増減率(為替影響除く)
米州	1,193	1,398	+17.2% (+5.3%)
欧州	1,081	1,243	+14.9% (+1.8%)
アジア他	406	492	+21.2% (+11.1%)
日本	454	505	+11.2% (+11.2%)

電子文具 地域別売上高内訳(億円)

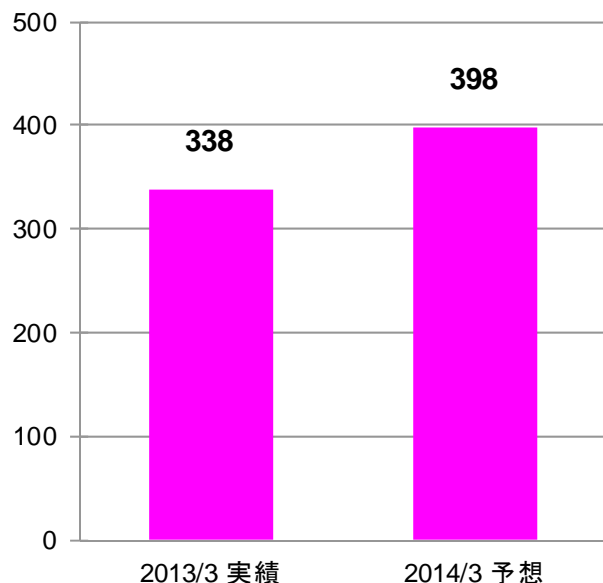
	12年度	13年度	増減率(為替影響除く)
米州	176	206	+17.4% (+5.0%)
欧州	114	136	+19.6% (+5.6%)
アジア他	43	53	+23.3% (+11.8%)
日本	41	45	+9.2% (+9.2%)

- 新興国向け戦略商品の投入により、アジア他地域を中心に増収を見込む
- 固定費増という圧迫要因はあるものの、為替のプラス効果もあり、増益を見込む

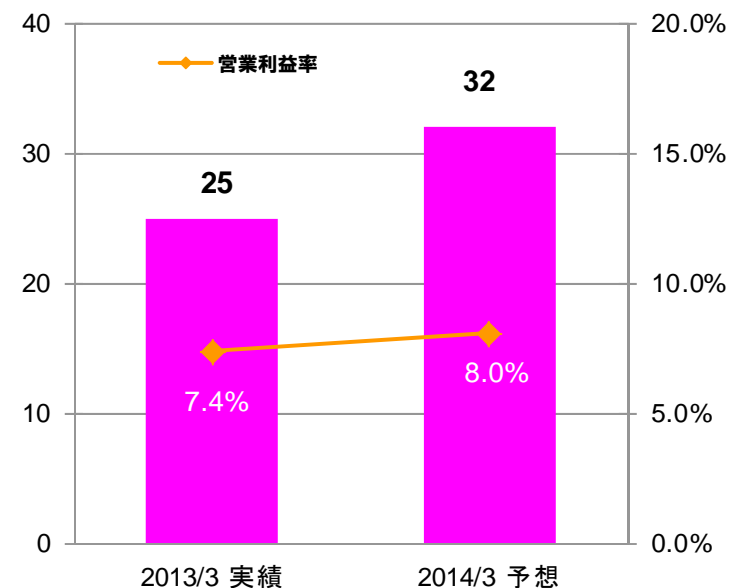
パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



増減率(為替影響除く)

家庭用ミシン
+17.7% (+7.3%)

家庭用ミシン 地域別売上高内訳(億円)

	12年度	13年度	増減率(為替影響除く)
米州	174	205	+17.9% (+5.8%)
欧州	78	91	+17.1% (+2.1%)
アジア他	28	35	+26.3% (+16.4%)
日本	59	67	+14.3% (+14.3%)

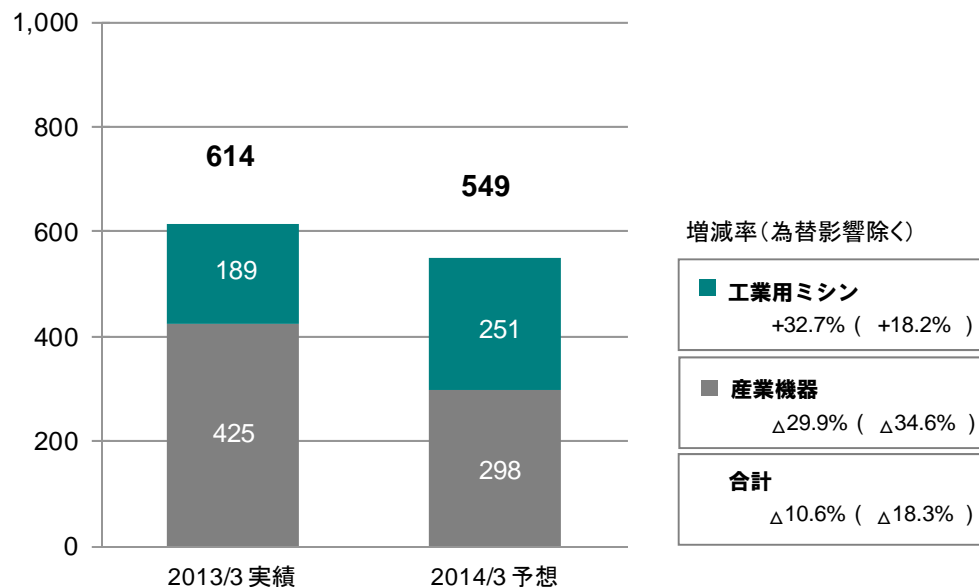
- 為替のプラス効果や、アジア・新興国での販売拡大により、増収を見込む
- 増収効果や、為替のプラス効果により、増益を見込む

マシナリー&ソリューション事業

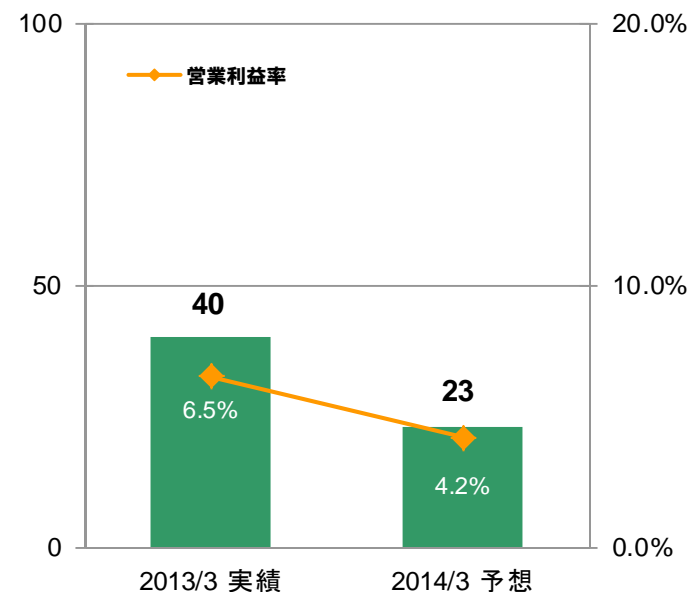
売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



工業用マシン 地域別売上高内訳(億円)

	12年度	13年度	増減率(為替影響除く)
米州	36	42	+16.0% (+3.4%)
欧州	30	39	+30.4% (+14.3%)
アジア他	117	166	+41.3% (+25.8%)
日本	5	4	△27.3% (△27.3%)

産業機器 地域別売上高内訳(億円)

	12年度	13年度	増減率
米州	20	18	△9.8%
欧州	11	13	+11.8%
アジア他	348	232	△33.3%
日本	46	35	△22.9%

- 工業用マシンは、景気回復に伴い増収となる見通し
- 産業機器は、IT関連向け顧客からの需要減の影響が大きく、減収となる見通し
- 産業機器の減収に伴い、減益となる見通し

※産業機器については、主に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

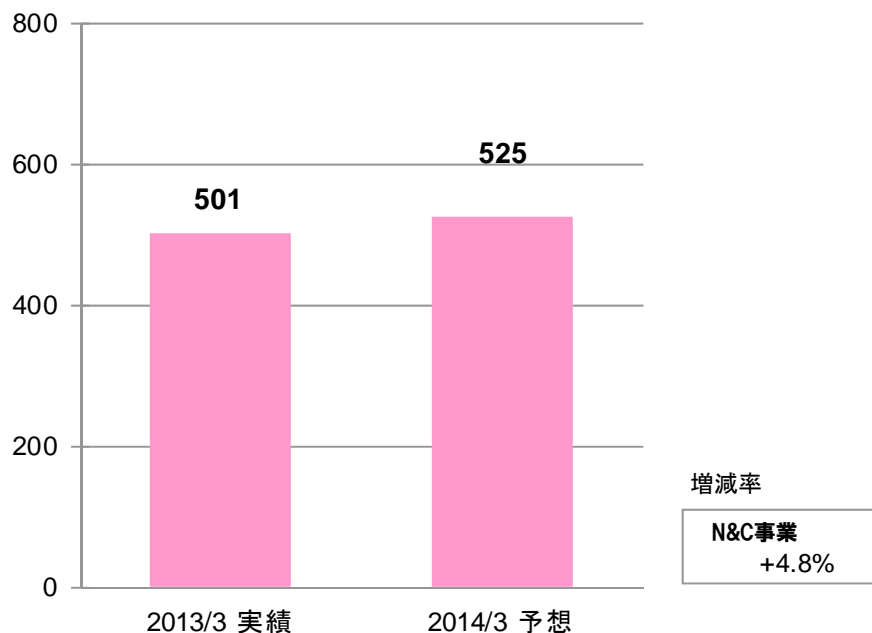
ネットワーク&コンテンツ事業

売上高・営業利益 <2014年3月期 通期予想>



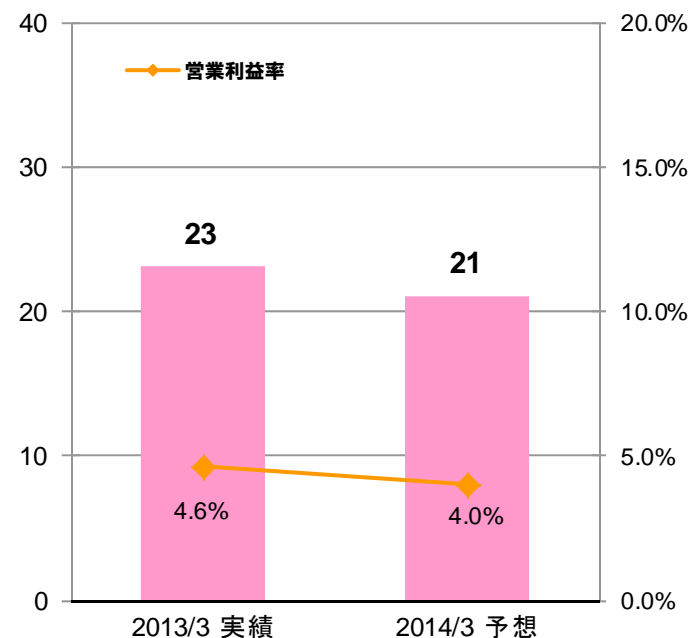
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



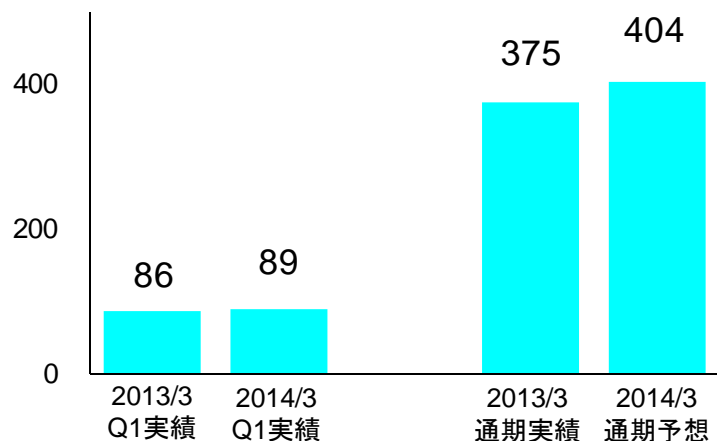
- 通信カラオケ機器の賃貸収入などの増加などに伴い、増収となる見通し
- 営業利益は、安定的な利益の確保を見込む

※ネットワーク&コンテンツ事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

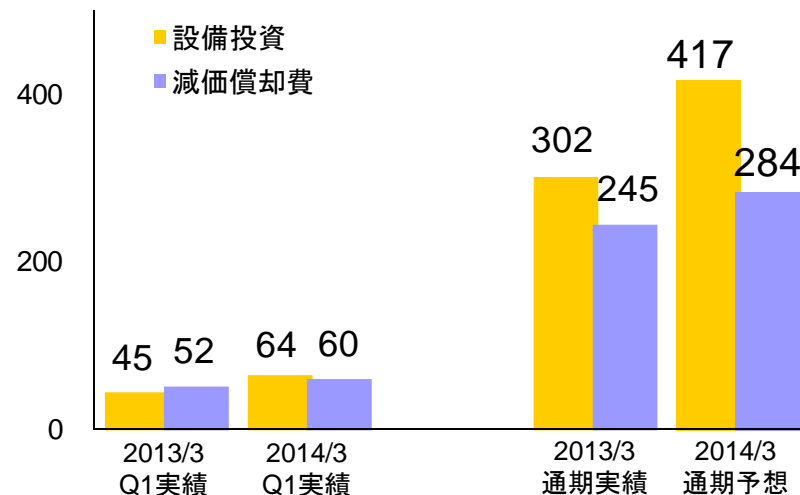
【参考】研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産



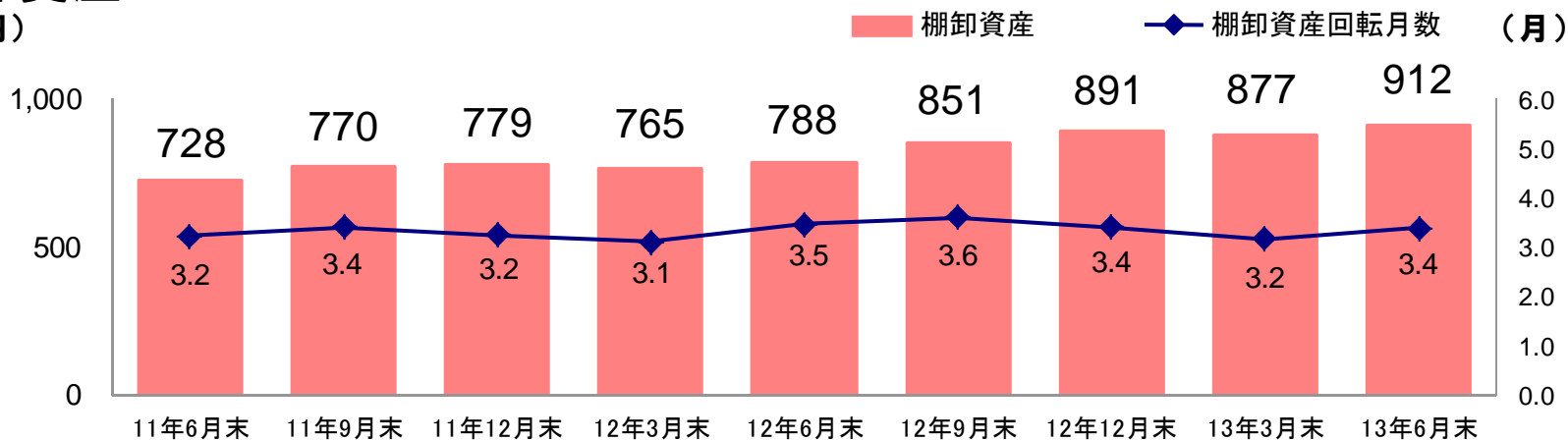
研究開発費 (億円)



設備投資・減価償却費 (億円)



棚卸資産 (億円)



※棚卸資産回転月数=棚卸資産÷(1ヶ月平均売上原価)

brother
at your side